



暮らしや生活に関するご相談などお気軽にお寄せください！

## 学校校則の見直しを

### 千葉市立中高校 ツーブロック禁止

# 67%

かばさわ洋平議員

代表質疑 2・17



かばさわ議員は代表質疑を行いました。学校校則問題、大網街道バイパス道路整備、災害に強いまちづくり、高齢者医療費問題について、質疑内容を報告します。

## 子どもの権利条約を学ぶ機会を

●かばさわ議員 サイドを刈り上げるツーブロックを禁じた髪型の規則、下着の色まで定めた校則など生徒からみて理不尽な校則は未だに少なくない。本市小中高校の校則において、ツーブロック禁止や下着色の指定など理不尽な校則がある学校や頭髪調査、地毛証明書提出を求める学校の実態はどうか。

◆教育長 本年2月に実施した「学校生活のきまり」等の身だしなみに関する調査において、市内57校の中学校及び高等学校のうち、ツーブロックを禁止している学校は約67%、下着の色を指定している学校は約49%、頭髪調査をしている学校は約12%であり、地毛証明書の提出を求める学校はなかった。

●かばさわ議員 ツーブロック禁止等や頭髪調査は見直すよう指導すべきではないか。中学・高校の校則改善に向けて積極的に取り組むことや子どもの権利条約を学ぶ機会を増やすことが必要と考えるがどうか。

◆教育長 本市では、児童生徒が校則について考えることは、自治意識を醸成する観点から有意義な取り組みであると捉え、自治活動について主体的に考える機会として、生徒会交流会等を催している。今後は12月の人権週間において、特別活動や道徳などの学習機会を捉え子どもの権利条約を学び、自分たちの権利について主体的に学び考えられるような学習活動を推進していく。

### 【市内57校の中学高校】

ツーブロック禁止 67%

下着色指定 49%

頭髪調査 12%

## 大網街道バイパス道路・誉田駅前線整備予算が約2倍に！

大網街道バイパス道路・誉田駅前線



●かばさわ議員 日本共産党千葉市議団は昨年の議会質問で大網街道バイパス等の渋滞解消に向けて道路整備予算の拡充、市債の活用を強く要望してきた。

渋滞深刻な大網街道バイパスとなる塩田町誉田町線の誉田町地区と誉田駅前線や道路部の道路整備全体の補正予算を含めた予算は前年度比でどの程度拡充されたのか。また今後の整備促進に向けた決意はどうか。

◆副市長 塩田町誉田町線の誉田町地区と誉田駅前線の2路線あわせた予算は、令和2年度が、4億9,500万円。令和3年度は、9億7,700万円で、4億8,200万円の増となっている。また、道路部の道路整備の予算は、令和2年度が、72億3,147万円、3年度は、79億6,922万円で、7億3,775万円の増となっている。

なお、幹線道路の整備や、主要渋滞箇所の改善を図る「交差点改良」などは、本市の持続的発展を支える重要な事業の一つであることから、これらの事業効果を早期に発現するため、必要な予算の確保に努め、着実に推進する。

# 前進 災害に強い森づくり推進し停電しないまちづくりへ



●かばさわ議員 長期停電の原因となった倒木を防止するために森林整備を求め、高田町と下大和田町で災害に強い森づくりが実施された。今後は面積要件などを緩和して、多くの危険箇所を実施できるよう改善し停電しないまちづくりが必要と考えるがどうか。

◆副市長 今後、よりきめ細かく森林整備を進めることができるよう、国事業の対象とならなかった小規模森林に対する市単独事業を創設することとした。これにより、自然災害に伴う被害の未然防止を図り、より一層、災害に強いまちづくりにふさわしい森林整備を推進する。

## 発達障がい者へ相談体制の強化と支援センター整備を！

●かばさわ議員 発達障がいの相談件数は令和元年度3,903件とコロナ禍でも増加傾向であり2か月待ちの状況である。早期に相談支援できるかが、障がい克服や発達成長及び家族への負担軽減にもつながるため、発達障がい支援相談体制の強化と新たに支援センターを東部地域に整備すべきと考えるがどうか。



◆保健福祉局長 今後は、新型コロナウイルス感染症や災害等により来所、対面による相談が困難な状況であっても、発達障がいのある方からの相談に迅速かつ切れ目なく対応するため、従来の相談支援の方法に加えて、新たにタブレット端末を導入したオンラインによる相談も進めていく。現時点は新たなセンターを整備する予定はないが、多様な相談体制を提供することで、今後も増加する相談や待機状況に対応すべく、必要な検討を進める。

## 75歳以上の医療費窓口負担2割への負担増は撤回を！

●かばさわ議員 75歳以上の医療費窓口負担2割への改悪は年金が削減され続け、生活が厳しさを増すなかで、また受診抑制による病状悪化も危惧される。高齢者の命と健康を守るために負担増は撤回すべきだ。



◆保健福祉局長 少子高齢化が進む中、制度を持続可能とするためには現役世代の負担上昇を抑えながら、全世代の方が安心できる仕組みを構築していくことが必要であり、昨年12月に方針が閣議決定されたもの。窓口負担割合の変更にあたって今後、被保険者に丁寧に説明をしていく。

## 前進 要望の声を届け新年度予算で施策が前進します！

- ✓ 新型コロナ軽症者等の在宅療養支援 配食、日用品配送、看護師による健康確認
- ✓ 生活困窮者自立相談支援 生活自立・仕事相談センターを緑区に R3年9月開設予定
- ✓ まちなかベンチの設置 道路にベンチを設置 60基
- ✓ 小中学校ICT支援員配置 ICT機器の活用推進支援員をR3年165校に配置（163校増）
- ✓ 動物愛護施策の推進 ボランティアに収容動物の世話に必要な物資の支援を実施

# 日本共産党 千葉市議会議員 かばさわ洋平

【かばさわ事務所】〒266-0005 緑区誉田町2-24-275 TEL 292-7764 Email [takumiuna@gmail.com](mailto:takumiuna@gmail.com)  
【日本共産党千葉市議団】〒260-0026 中央区千葉港1-1(千葉市議会内) TEL 245-5484

